

「そー言われると、たしかにおじいちゃ



んもそんな気がするなあー」

「でしょー」

「けど、コーモリの立場になってみたら一概に『ずるい』とばかりは言えないな」

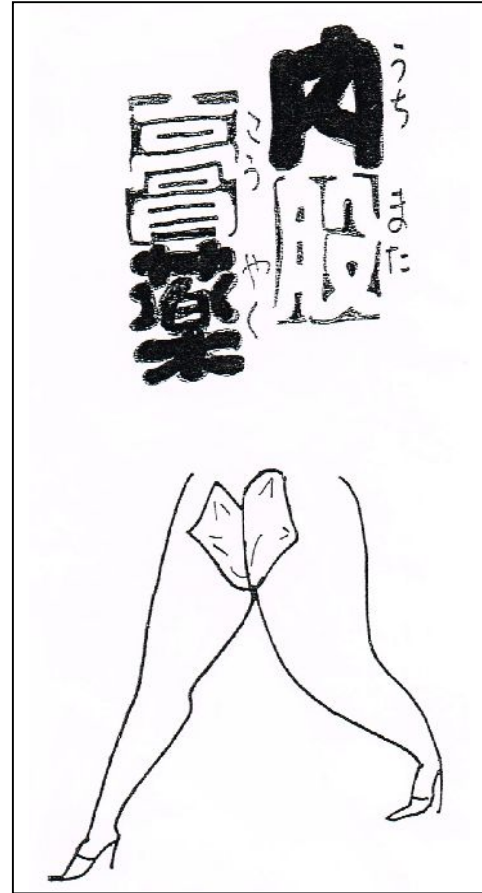
「どーしてですか？」

「コーモリだって生きるのに一生懸命なんだよ。そこんとこわかってやらなくちゃー」

「だって、鳥とけもの戦争が始まったら、コーモリは鳥たちが優勢になると自分は翼があるから鳥類だといい、けものたちが優勢になるとキバがあるから自分は何も属だといって、その時の情勢によって、味方を裏切って常に勝ち組につくのはずるいんじゃないですか」

「たしかに、自分の主張や意見を持たずに、そのときそのときの都合しだいで、右側にくっついたたり左側にくっついた

先週のお返



りするのは、内股に貼った膏薬みたいでみっともない」

「でしょー」

「みっともないが、同情の余地もある」

「・・・」

「ばあさんとおまえのママがケンカする」

「嫁姑戦争ですね」

「そのとき、おまえのママは、ばあさんがいないところではママの味方だとい、ママがいないときはばあさんの味方だといっているのは、内股膏薬ではあるが、生活の智慧でもある。そこんとこわかってやらなくてはいいかん」

「なっとく」



今週の問題



□の中に漢字を埋めて
四字熟語を完成させてください。